

備えあれば憂いなし！

役場庁舎内避難訓練

11月22日（金）、役場庁舎内避難訓練が行われました。これは火災の発生しやすいこれからの季節に備えて避難経路・防災機器・持ち出しが必要な重要書類などの確認を兼ねて行われたもので、水俣芦北広域消防本部協力のもと行われました。

今回の避難訓練では、職員が屋上に取り残された事を想定して、はしご車を使い救助する、より実践的な訓練が行われました。

今回の訓練で使用されたはしご車は、昨年購入されたもので訓練での使用は管内で今回が初めてでした。



大きなはしご車が出動しました

地域のみんなでぺったん

12月1日（日）、赤崎漁村センターで赤崎きらら海による赤崎地区もちつき大会が開催されました。これは廃校になった赤崎小学校での恒例行事として行われていたもちつき大会をこれからも存続させようと赤崎きらら海が中心となって開催したものです。

当日は大人から子どもまで約30人が集まりおよそ60キロの餅を交替でつきました。参加した子どもたちは臼の中の熱々の餅に狙いをさだめて力いっぱい杵を振りおろしていました。参加者は、つきたての餅のほかに豚汁や赤飯などを食べながら、地域の交流を深めていました。



町長を前に少し緊張気味の園児たち

感謝の気持ちを込めて

津奈木幼稚園からの贈り物

11月22日（金）、津奈木幼稚園年長児5人が役場を訪れ、庁舎内の様子を見学するとともに、町長への手づくりの贈り物を手渡しました。これは、勤労感謝の日に合わせて普段からお世話になっている町長や教育長、駐在所の人などに感謝の気持ちを伝えようといわれているものです。

今年は手作りクッキーにメッセージを添えたものがプレゼントされました。園児たちは「いつもお仕事お疲れ様です。これからも町のために頑張ってください」と元気にあいさつをしてくれました。

赤崎地区もちつき大会



お姉ちゃんの手をかりて初めてのもちつき

笑う門には福来たる！



会場を笑いの渦に巻き込んだ三遊亭歌之介師匠

懐かしの童謡を美声にのせて

坂入姉妹コンサート開催

12月8日（日）、つなぎ文化センターで坂入姉妹コンサートが行われました。これは2年に1回行われる文化センター文化事業の一貫として行われたものです。坂入姉妹は子どもから大人まで楽しめる童謡や唱歌を歌う二人組で、全国各地のコンサートホールで活躍しています。

当日は子どもから大人まで約200人の来場者があり、『ふるさと』や『千の風になって』など約20曲を歌いました。コンサートに来場した人は「心が癒された良い一日となりました」と笑顔で話していました。



美しい歌声で会場を魅了しました

三遊亭歌之介独演会開催

11月30日（土）、つなぎ文化センターで町制施行50周年を記念して三遊亭歌之介独演会が開催されました。三遊亭歌之介師匠は鹿児島県出身で1か月前に発券した整理券が3日で無くなるほど人気の落語家です。

当日は多くの観客が集まり、文化センターは満員。落語が始まると観客はお腹を抱えて笑っており会場は終始、笑い声が響き渡っていました。その後、抽選会が行われ当選した観客は、歌之介師匠のサイン入りCDや色紙を手にし嬉しい表情を浮かべていました。またCD、カセットの販売コーナーでは歌之介師匠が直接販売しており、人だかりができていました。



野菜を切る我が子に不安そうなお母さん

親子で作る初料理！！

親子料理教室開催

12月2日（月）、改善センターで親子料理教室が行われました。これは子どもの味覚を始めとする豊かな感性を培い、バランスの良い食事の大切さを学ぶとともに、家族で一緒にご飯を食べることの大切さを感じてもらおうと開かれた教室です。

当日は津奈木幼稚園の親子、約30人が参加。ハンバーグや園児たちが育てたさつま芋を使った、ごろごろサラダなどを親子で作りました。園児たちは「僕が切る!」と積極的に取り組み、慣れない手つきながら真剣な眼差しで野菜を切っていました。